

TAKE FREE!

ご自由にお取りください

普段着のわたし、ステキにいいこと

comvo
コンボ
communication X volunteer

Mar. 2011

3月号

Vol.155

特集

社会のありようを変える。

～「社会起業家」「ソーシャルビジネス」を考える～



コミュニケーション (communication) とボランティア (volunteer) を組み合わせた造語です。本誌は「暮らし・笑顔・自分らしさ」を大切に、人と出会うこと、多様な価値観に触れること、新しい何かを創ることの面白さをお届けするボランティア活動情報誌です。

おくびっく

目次・OCVICからのお知らせ

01

<特集>

02

社会のありようを変える。

~「社会起業家」「ソーシャルビジネス」を考える~

05

情報マーケット

ボランティア募集 イベント・セミナー・講座などの情報
その他、助成金などの情報

24区ボランティアビューロー一覧
サロン開催情報

12

ボランティア活動総合補償制度のご案内

13

おくびっく OCVIC インフォメーション

14

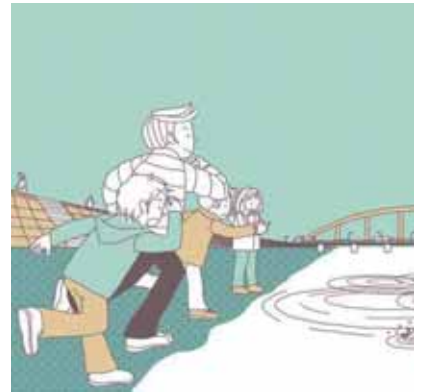
読者プレゼント

今月の表紙

社会を変えていく波紋

「波紋」って、始まりはただの点なのに、ゆっくりと、でも確実に広がっていきますよね。

例えば、世の中をガラリと変えてしまうような取り組みも、スタートはちっぽけな点。それが少しずつ広がり、時には後から生まれた波紋と交わったりもしながら、気づけばいつの間にか世の中を変えているんじゃないか、って思うんです。



おくびっく

OCVICからのお知らせ

おくびっく

OCVICボランティア相談会 あなたにピッタリの活動を一緒に考えます!

予約制だから、「待たずに」「じっくり」ご相談いただけます!

「ボランティア活動を始めてみたいけど、どんな活動が自分に向いているのかわからない」そんなあなたの悩みに、ボランティアコーディネーターがお答えします。また、グループ運営の課題や研修の企画などのご相談にも応じています。

予約制で、事前に相談内容を伺い、コーディネーターが資料などを準備したうえで面談に臨むため、とても効率的です。お気軽にお申しください。



上手な相談術

あなたの「興味・関心」「特技・趣味」「希望や要望」など、できるだけ詳しく教えてください。

申込方法

「ボランティア相談会希望」と明記し、希望日と主な相談内容、住所・名前・年齢・連絡先を添えてEメールかFAXでお申込みください。電話でも受け付けます。

開催日

= 午後7時 ~ = 午後1時30分 ~

【OCVIC開館時間】

黒字 = 午前9時30分 ~ 午後8時30分

青字 = 午前9時30分 ~ 午後5時 赤字 = 休館

ご相談は、相談会に限らず随時受け付けています。

TEL:06-6765-4041

FAX:06-6765-5618

E-mail:ocvic@osakacity-vnet.or.jp

2月 February

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月 March

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

社会のありようを 変える。

～「社会起業家」「ソーシャルビジネス」を考える～



賑わいをみせるソーシャルビジネスプランコンペ「edge2011」ファイナルの会場。詳細は本文内に。(提供:NPO法人、edge)

「社会起業家」や「ソーシャルビジネス」という言葉を聞いたことはありますか？
正確な意味までは知らなくても、耳にしたことがあるという人は少なくないのではないのでしょうか。
今回は、ここ数年でグッと身近になってきた感のあるこの存在について、二人の識者に全体像と今、そしてこれからを伺いました。

ビジネスの手法を用いて
社会課題を解決し、
社会を変えてゆく

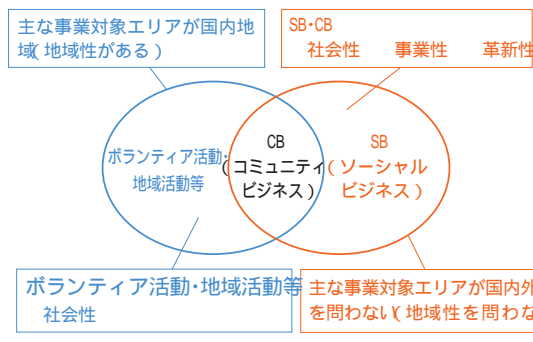
社会起業家とは、一言で言うところ「ビジネス手法を用いて社会課題の解決を図る人」のことです。手がける事業はソーシャルビジネス(SB)と呼ばれ、社会的な課題をボランティアベースではなく、ビジネスベースで改善・解決します。つまり、資金を自らの手で生み出しながら「今ある社会をより良い社会に変えてゆく活動」を持続的に行い、資金を再投資していく事業を指し、次のような定義が一般化しつつあります。

「ソーシャルビジネス」の定義

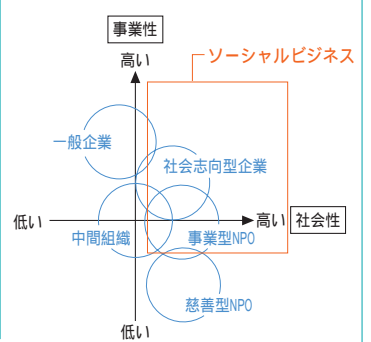
- 1. 社会性**
現在解決が求められる社会課題に取り組むことを事業活動のミッションとすること
- 2. 事業性**
ミッションをビジネスの形に表し、継続的に事業活動を進めていくこと
- 3. 革新性**
新しい社会的商品・サービスや、それを提供するための仕組みを開発したり、活用したりすること。また、その活動が社会に広がることを通して、新しい社会的価値を創出すること

近い言葉に「コミュニティビジネス(CB)」がありますが、これはいわばソーシャルビジネスの一部。事業の対象を地域における社会課題に絞り、一定のエリア性があるのが特徴です。

ボランティア活動等とSB、CBの関係



ソーシャルビジネスの担い手



出典:経済産業省「ソーシャルビジネス研究会」報告書(平成20年度) 図は一部を編集

社会の行き詰まりを
暮らしたに変わる
ビジネスで変える

まず最初は、日本におけるソーシャルビジネスの広がりについて、関西学院大学教授の牧里毎治さんにお話を聞きました。牧里さんは2008(平成20)年、全国で初めて大学における「社会起業学」の立ち上げに中心的に関わり、



牧里每治さん。関西学院大学人間福祉学部社会起業学科創設の中心者。現在は同大学の社会起業サポートセンター（SSC）のセンター長も務める。

現在は同学科で教鞭をとっています。

「世界的にはアメリカやイギリスでこうした事業が注目され始めたのは70〜80年代。産業の行き詰まりや貧困の社会問題化といった局面を、例えば地域のまちづくりという観点で新たな仕事を開拓する際に用いられたのが始まりです。つまり産業構造の変化や貧困への悪循環を、暮らしに関わるビジネスで吸収しようとするものです」と牧里さんは話します。

こうした考えが日本に渡ってきたのは1990年代になってからのこと。日本では90年代初頭、行き詰まった社会の中で市民の力を発揮する場が必要だと気づいた人が現れ始めました。行政に頼りきるのではなく、市民主導で解決していくとするムーブメントの興りです。例えば高齢者のケアを地域住民の参加のもと行う宅老所を作ろうというような動きですね。行政も、補助金を出すなどしてこうした動きを積極的に支援してきましたが、2000年代以降は、行政も財政難

に陥り、公的資金頼みの市民活動は立ちゆかなくなってきました。そんな背景もあり、経済的に自立するための仕組みを備えたソーシャルビジネスが、次第に注目されるようになってきたのです。」

誰もが誇りを持って 生きられる社会づくりを 追求する

その特徴として、単に社会によいサービスをもたらすだけでなく、例えば障がいのある人や路上生活を余儀なくされている人、外国人など、社会的に排除されがちな人の働き口を確保し、彼らを社会につなぐ働きが挙げられると牧里さんは言います。

「例えば大東市の『住まいみまもりたい』というNPO法人では、モノであふれた家屋の清掃を請け負い、不用品を引き取ってリサイクルに回しています。そして、ここで得た収益で引きこもりの人を雇用しているんですね」と牧里さん。このような、誰もが

誇りを持って生きられる社会づくりを支えるという点は、ソーシャルビジネスの持つ大きな意義の一つと言えるでしょう。

ただ牧里さんいわく、現実問題として、数ある事業体の中で完全に事業収入だけで運営できているものは、まだごく一部にすぎないとのこと。「時間はかかるけれど、ビジネスの実践者だけでなく、消費者、マスコミ、産学関係者など、いろいろな立場の違う人が支えていくことが何より大事です。5年前と今が明らかに異なるように、ますます広がっていくのは間違いないとみています」と牧里さんは展望しています。

社会起業家への 関心の向き方が変化

次にお話しを聞いたのは、毎年ソーシャルビジネスのプランコンペを実施するなど、若者の社会起業家の育成をサポートしているNPO法人 edge 代表

理事の田村太郎さんです。

「私はいくつかの大学で教えているんですが、一昔前はソーシャルビジネスについてと消去法の選択肢として志す学生が多かったです。自分がやりたい社会を変える『仕事は、公務員になってもできそうにない。かといって、大きな企業に入社することも難しい。だったら社会起業家になろう』というふうな。しかし最近では、『社会起業家だからこそできること』に憧れてこの業界を目指すという学生が増えています。志の持ち方が変わってきています。それはとてもいい傾向だと思います」と田村さん。こうした社会起業家への関心の高まりは、今年で7回目を迎えたビジネスプランコンペ edge の開催状況にもはっきり現れているのだとか。

「実は、コンペにエントリーする人の数はそれほど変わっていないんですが、ファイナルのプレゼンイベントには年々多くの聴衆が集まるようになってきていますね。その規模が直近では



田村太郎さん。edgeの他にも、「多文化共生センター」「ダイバーシティ研究所」など複数の団体に中核を担

2000人をゆうに超えていて、会場が手狭に感じるほどの賑わいでした。」

「社会起業家2.0」を育てたい
今ある社会そのものを変える

ただ、「コンペにエントリーされるプランを毎年吟味し、ブラッシュアップへのアドバイスを送り続けている田村さんにとって、気になることがひとつあるのだとか。

「プランを考えるうえで、実現可能性は大事なんです。でも、そこを重視するあまり、現状の社会構造に対して、生きにくいと感じている人々を、社会の方に適応させるようなプランが目立つんです。わかりやすい例で言うところ、外国人が日本で働くなら、日本語を話すのが当たり前だから日本語が学べる仕組みを作りましょう。みたいなね。でもそれは、言ってみれば「社会起業家1.0」にすぎないんです。むしろ、本当に必要なのは、例えでい

ば外国人が母国語を活かして生活できるような社会を作ることじゃないかと。つまり、今ある社会そのものを変えるような生きにくさをプラスにしていける社会に変えてしまつような社会起業家2.0を育てたい、と常に思っています。それでこそ『チェンジメーカー』ではないかと。」

その2.0のプランを生み出すために必要なのは、社会の課題に気づく問題意識だということ田村さん。自分の中に「これは何とかしなきゃ」という切実な問題意識さえあればプランは後からいくらでも磨いていけるんです。だから、あれもこれも解決したい』と欲張らず、まずはどんな課題を解決したいのかを具体的に絞り込むこと。極端な話、最初はたった1人の悩みを解決するためのビジネスプランを考えるところから始めればいいんですよ』とスタートラインに立つうえで大切な視点を語ってくれました。

お知らせ

Information

学生の挑戦の今を知ることができるサイト

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科の学生が自主企画・実施しているプロジェクトの今を知ることができるほか、学生が社会の課題に触れる機会として実施されているフィールドワーク等のレポートも見るができます。一般参加OKのセミナーの告知もチェックできます。

問合せ先: 関西学院大学 社会起業サポートセンター
電話0798-54-4897
http://ssc-kg.com/

edge

社会的企業創業支援ファンド

NPO法人edgeでは、「社会的企業の創業・事業化」を仕掛ける若き挑戦者たちに向けて、起業支援金(200万円程度)と研修の機会を提供する社会的企業創業支援ファンド事業を実施し、2年間で30人の起業家輩出を目指しています。現在、第3期の募集を行っています(4月11日締切)。応募条件等は、ウェブサイトをご覧ください。

問合せ先: NPO法人 edge
電話075-213-4349
Eメールinfo@edgeweb.jp
http://www.edgeweb.jp/

【取材を終えて...】

ここ数年で、日本でもずいぶんその存在を知られるようになってきた「社会起業家」や「ソーシャルビジネス」ですが、欧米に比べると、社会的な関心は高まっているものの実際に起業する人はまだまだ少ないのが現状です。

その数を一気に増やすことは簡単ではないでしょう。しかし、牧里さんがお話ししてくだつたように、起業家にはならなくても、さまざまな立場で、一人ひとりがその存在や社会的な意義を理解することで、社会全体の関心・理解が高まっていくことにつながるのではないかと感じました。そして、そうやって裾野が広がることで、起業家が次第に増えていくことにつながるのではないのでしょうか。

Pick Up! Social Business

例えばこんなソーシャルビジネス

脱施設型 & 月会費制にしたことで、病児保育の経営的な不安定さを解消!

NPO法人 フローレンス

感染予防の観点から、発熱などをした園児は預けられない保育園に代わり、病児の世話をする病児保育。しかしこの事業、子どもがいつ、何人くらい熱を出すかは予測不能で波もあるため、経営的に安定しにくいことがネックでした。そこで、特定の施設を持たない事業スタイルや、会費制の月額料金システムを取り入れるなどの工夫で、安定経営できるビジネスモデルを作りました。

「食べられないもの」が入っていないか、誰が見ても一目瞭然!

NPO法人 インターナショナル

世の中には、アレルギーや宗教上の理由などで、口にできない食材がある人は大勢います。そんな人でも安心して外食ができるよう、ピクト(絵文字)を使った、誰にもわかる食品の原材料表示システムを開発。ビジネスモデルとしては、このピクトを使ったステッカーなどを、表示する際の基準などを記したマニュアルとセットにして、飲食店や企業に販売しています。ソーシャルビジネスプランコンペ「edge2007」優秀賞受賞プラン。

1日わずか数十円! 日本国内の情報を多言語で提供。

株式会社グローバルコンテンツ

日本に住んでいるけれど日本語の読み書きができない。そんな外国人は意外に多く、彼らにとっては、日本国内のニュースや天気予報といった生活情報をチェックするのにも苦労なのです。そこで、月315円の利用料を払えば携帯電話から4つの言語に対応したこれらの情報が入手できるコンテンツを提供。会員は最大で1万人に達したのだとか。実はこれ、本文に登場の田村さんが設立した事業です。

調理スキルという強みが活かせるアジア人女性の就業機会を生み出す

関西学院大学起業プラクティス「CASAプロジェクト」

関西学院大学・社会起業学科の学生が自主企画・実施するプロジェクトのひとつ。言葉の問題などから日本での就労が難しい滞日アジア人女性に、調理スキルを活かした母国料理のケータリングサービスやイベント屋台など、働く場を提供。現在、常設店舗の設置に向け、週一回実験カフェ「CASA」を展開しています。この活動は学生の社会貢献活動を英語でプレゼンして競う2009年度SIFE国内大会で優勝、世界大会へも出場しました。

24区ボランティアビューロー 一覧 ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください

区名	所在地	電話(06)	FAX(06)	区名	所在地	電話(06)	FAX(06)
北	北区神山町15-11 北区在宅サービスセンターいきいきネット	6313-5566	6313-2921	東淀川	東淀川区菅原4-4-37 東淀川区在宅サービスセンターほほえみ	6370-1630	6370-7330
都島	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504	東成	東成区大今里南3-11-2 東成区在宅サービスセンターひがしなり	6977-7031	6977-7038
福島	福島区海老江6-2-2 あいあいセンター	6454-0531	6454-6331	生野	生野区勝山北3-13-20 生野区在宅サービスセンターおかちやま	6712-3101	6712-3001
此花	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984	旭	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
中央	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151	城東	城東区中央2-11-16 城東区在宅サービスセンターゆうゆう	6936-1153	6936-1154
西	西区新町4-5-14 西区在宅サービスセンターにしながほり	6539-8075	6539-8073	鶴見	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
港	港区弁天2-15-1 港区在宅サービスセンターひまわり	6575-1212	6575-1025	阿倍野	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
大正	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687	住之江	住之江区御崎4-6-10 住之江区在宅サービスセンターさざなみ	6686-2234	6686-0400
天王寺	天王寺区六万休町5-26 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい	6774-3377	6774-3399	住吉	住吉区浅香1-8-47 住吉区在宅サービスセンターいきいき	6607-8181	6692-8813
浪速	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028	東住吉	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
西淀川	西淀川区千舟2-7-7 西淀川区在宅サービスセンターふくふく	6478-2941	6478-2945	平野	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
淀川	淀川区三国本町2-14-3 淀川区在宅サービスセンターやすらぎ	6394-2900	6394-2978	西成	西成区岸里1-5-20 西成区在宅サービスセンターはぎのさと	6656-0080	6656-0668

サロン開催情報

“一見さん”大歓迎の交流定例会！一度楽しい雰囲気のをぞいてみては？参加ご希望の場合は事前に各問合せ先まで電話でご確認ください。



サロンにし (毎月第2土曜日)

3月の出会い：3月12日(土)午後2時～4時
内容：「手話を学ぼう! - 基礎編 -」
参加費：無料
会場：西区在宅サービスセンターにしながほり
(西区新町4-5-14 区役所合同庁舎6階)
問合せ：090-3949-6973 (宮脇)

サロン淀川 (毎月第3日曜日)

3月の出会い：3月20日(日)午後1時30分～4時
内容：「『ウサギとカメ』どちらが先に仕上がるか。毛糸を使いかわいいウサギのブローチ、五円玉手芸のカメを作ります。」
パネラー：山田富夫さん(シルバーボランティア手作りあそびグループ)
参加費：無料
会場：淀川区在宅サービスセンターやすらぎ(淀川区三国本町2-14-3)
問合せ：06-6394-2900(淀川区V B)

サロンひがしなり (毎月第3土曜日)

3月の出会い：3月19日(土)午後1時30分～4時
内容：「バンド演奏で“昭和の歌”を唄いましょう！」
パネラー：CHO-KAI BAN(町会バンド)
参加費：無料
会場：東成区在宅サービスセンターひがしなり(東成区大今里南3-11-2)
問合せ：06-6977-7031(東成区V B)

サロン・あべの (毎月第3土曜日)

2月の出会い：2月19日(土)午後1時～4時
内容：「梱包ひもで出来る難入形」
パネラー：米村金治さん(野と森に遊ぶ文化協会公認講師ほか)
参加費：300円(材料費、ケース付)
会場：育徳コミュニティセンター2階研修室(阿倍野区阪南町5 15 28)
問合せ：06-6691-1028(富田)

この他にも各地でサロンが開催されています

[問合せ一覧]

- WILLこのはな(毎月第1日曜日) 06-6461-0601(堀北)
- サロン・にしよど(毎月第4土曜日) 090-9864-9678(中本)
- ウィズ東淀川(奇数月第2日曜日) 06-6340-3082(鈴木)
- サロン「アイ」(毎月開催) 06-6712-3101(生野区V B)
- サロンつるみ(偶数月第1日曜日) 06-6913-7070(鶴見区V B)
- てくてく・すみよし(偶数月第2土曜日) 06-6692-8411(山本)
- サロン・ひがしすみよし(毎月第3土曜日) 06-7896-0699(寺内)

V B = ボランティアビューロー

()内は定例日ですが、変更の場合もありますのでご確認ください

情報求ム!



このコーナーでは、ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時お待ちしています。どしどしお寄せください!

掲載
無料

[申込み方法]

『COMVO』月号掲載希望」と記したうえで、下記の必要事項を明記し、郵送・ファックス・EメールにてOCVIC(大阪市ボランティア情報センター)までお申込みください。必要事項が記されているチラシ等をお送りいただいても結構です。

ボランティア募集の場合(総字数の目安:300字)

タイトル、団体名、呼びかけ文・活動内容、日時、場所、人数・条件、食事支給の有無、交通費支給の有無、申込方法・締切の設定、団体所在地、申込・問合せ先(電話・ファックス・Eメール・URL・担当者名)

イベント・セミナー等の告知の場合(総字数の目安:400字)

タイトル、団体名、呼びかけ文、日時、場所、内容(概要)、対象・人数、参加費、申込方法・締切の設定、団体所在地、申込・問合せ先(電話・ファックス・Eメール・URL・担当者名)

ボ ...ボランティア募集

イ ...イベント・セミナー・講座などの情報

他 ...その他、助成金などの情報

その他、助成金などの情報

2011年度(第9回)ドコモ 市民活動団体への助成募集案内

他

NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド(ドコモMCF)
<http://www.mcfund.or.jp/>

将来の担い手である、子どもの育成に取り組んでいる市民活動団体を応援します。活動の輪が広がることにより、人と人との絆が強まり地域コミュニティの形成、発展、再生につながることを期待します。

対象活動 / 不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対するの支援活動、児童虐待やDVなどの被害児童、生徒に対する保護・支援活動、非行や地域犯罪から子どもを守るための支援活動など、「子どもを守る」をテーマにした活動

助成金額 / 総額2,500万円(上限)予定。1団体あたりの助成額は50万円を標準額とし、200万円までの申請を可能とします。

応募方法 / 助成内容と申込みの詳細は、ホームページにてご確認ください。応募締切は3月31日(木)必着です。

問 TEL:03-3509-7651(午前10時～午後5時 土日祝除く)
Eメール: info@mcfund.or.jp

155-24

アウトドア自然保護基金プログラム

他

コンサベーション・アライアンス・ジャパン
<http://www.ca-j.org/>

自然環境保護のために活動するグループに対し、資金援助を行います。明確な行動指針があり、自治体や中央政府に対して法律を遵守するよう働きかけるグループの支援を望んでいます。

支援金額 / 10万円から50万円の範囲

募集期間 / 常時募集中

応募方法 / 支援内容や申込方法の詳細は、ホームページにてご確認ください。

問 株式会社アライメント内
アウトドア自然保護基金プログラム係
TEL:042-944-5855
Eメール: info@ca-j.org
(担当:福永)

155-25

情報求ム!



このコーナーでは、ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時お待ちしています。どしどしお寄せください!

掲載
無料

[申込み方法]

『COMVO』月号掲載希望」と記したうえで、下記の必要事項を明記し、郵送・ファックス・EメールにてOCVIC(大阪市ボランティア情報センター)までお申込みください。必要事項が記されているチラシ等をお送りいただいても結構です。

ボランティア募集の場合(総字数の目安:300字)

タイトル、団体名、呼びかけ文・活動内容、日時、場所、人数・条件、食事支給の有無、交通費支給の有無、申込方法・締切の設定、団体所在地、申込・問合せ先(電話・ファックス・Eメール・URL・担当者名)

イベント・セミナー等の告知の場合(総字数の目安:400字)

タイトル、団体名、呼びかけ文、日時、場所、内容(概要)、対象・人数、参加費、申込方法・締切の設定、団体所在地、申込・問合せ先(電話・ファックス・Eメール・URL・担当者名)

申込先

大阪市ボランティア情報センター 情報誌「COMVO」編集室
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センター1F

FAX:06-6765-5618 Eメール: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

URL・問合せ先

<http://comvo.weblogs.jp>

☎06-6765-4041(担当:堀・松尾)

*本誌の発行日は毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします(例:4月15日発行号に掲載希望の場合は2月末まで)*受付・掲載有無の確認は、編集室からはご連絡しません。*申込み=掲載確定ではありません。紙面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。*記事掲載にあたって、写真や担当者(あるいはボランティア)のコメントの提供をお願いする場合があります。*掲載された場合は、編集室から問い合わせや申込状況などの反響についてお尋ねする場合があります。*個人発信の掲載は行っていません。ご希望の場合はOCVICまたは市内ボランティアビューローまでご相談ください。

ボランティア活動総合補償制度のご案内

(引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社)

お申し込みは、大阪市ボランティア情報センターまたは、各区ボランティアビューローで受け付けています。

ボランティア活動保険(団体単位で加入)

補償概要	ボランティア活動中、参加者が 偶発的な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。		
加入対象	<ul style="list-style-type: none"> ・無償活動であること(交通費実費等は除く) ・活動のための会議や往復途上も含む ・自助活動は補償対象外 		
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入は受付日の翌日から)		
補償内容	Aプラン	Bプラン	Cプラン(天災担保)
傷害保険部分	死亡・後遺障害保険金額	死亡・後遺障害保険金額	死亡・後遺障害保険金額
	1,478万円	2,935万円	1,281万円
	入院保険金(日額)	9,000円(日額)	6,000円(日額)
	手術保険金	6・12・24万円	9・18・36万円
通院保険金	4,000円(日額)	6,000円(日額)	4,000円(日額)
賠償責任部分	対人 対物 共通 1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		
年間保険料(1人)	300円	500円	700円

ボランティア・市民活動行事保険(行事単位で加入)

補償概要	ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、参加者が偶発的な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、主催者または参加者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。			
加入対象	ボランティア団体や市民団体が主催する行事(スポーツ団体や自助団体も含む)			
保険期間	行事期間中 (開催日前日までに受付が必要)			
補償内容	型(宿泊なし)	型(宿泊あり)		
傷害保険部分	死亡 500万円			
	後遺障害 15~500万円			
	入院(1日あたり)3,000円			
	通院(1日あたり)2,000円			
手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額				
賠償責任部分	対人	1人あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円		
	対物	1事故あたり 最高500万円		
保険料(1人)	型(宿泊なし)	型(宿泊あり)		
	A区分	30円	1泊2日 208円	4泊5日 314円
	B区分	134円	2泊3日 257円	5泊6日 322円
	C区分	262円	3泊4日 265円	6泊7日 330円

このほか、非営利・有償活動団体保険、移送中事故傷害保険もあります。

ボランティア活動保険 Q & A

Q ボランティア団体の活動に有償活動者を含む場合も、活動保険の対象となりますか？
A 有償活動中と見なされる当該者の事故は対象とはなりません。(活動内容により判断します)。非営利有償活動団体保険に加入すれば、無償・有償の区別なく補償します。

Q スキーやソフトボールの指導など、スポーツボランティアで補償の対象とならない種目などはありますか？
A 使用に際し高度な技術を要する危険な道具などを使う活動や、スカイダイビング、ロッククライミングなど一部危険な種目を除いては、特に種目によって補償の対象とならないものではありません。

お問い合わせ

<制度運営> 大阪市ボランティア情報センター
 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10
 大阪市立社会福祉センター 1F
 TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

<取扱代理店> 各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所
 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 4-1-3
 大阪センタービル 2階(伊藤忠ビル)
 TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686

北区・扇町総合高校で市民100人が1泊避難所体験 市民フォーラムおおさが「防災・減災を 考えるフォーラム」開催レポート

この冬一番の冷え込みとなった、1月15日(土)~16日(日)にかけて、北区松ヶ枝町にある大阪市立扇町総合高等学校を会場に、市民フォーラムおおさが「防災・減災を考えるフォーラム」が開催され、市民約200人が参加しました(主催:市民フォーラムおおさが実行委員会・大阪市社会福祉協議会、協力:大阪市立扇町総合高等学校)。

第1部は「防災・減災の視点から、日常生活や地域活動を考える」と題したパネルディスカッションで、新潟県中越地震の経験者、地域団体関係者などが話題を提供。コーディネーターの大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授森栗茂一氏は「普段から、多くの人を巻き込みながら地域活動に取り組む気持ちを高めていこう」とまとめました。またパネルディスカッションと並行して、子ども向けに、障がい者とともに震災を考えるプログラムも実施され、映像教材と障がい者の生の声に触れながら、約20人の子どもたちは自分たちができることを懸命に考えた様子でした。

第2部は、校舎の各所で「防災を考える体験コーナー」が実施されました。手作り担架や足湯体験、水を使わない洗顔料づくりのほか、癒しのツールとしての廃油アロマキャンドルづくり、アロママッサージなどが行われました。

そして第3部は模擬避難所宿泊体験。宿泊者はメディア等での告知で知ったという市民約100人で、遠くは三重から家族で参加した人のほか、車いす利用者、全盲の視覚障がい者、知的に障がいのある人なども含め、多様な人が参加しました。炊き出しで非常食を味わったり、災害対応カードゲーム「クロスロード」などで交流を深めたり、寝袋等で防寒対策をしたうえで、見ず知らずの老若男女が教室で一夜を明かしました。参加者のひとり、全盲の鈴木昭二さんは「とてもいい経験ができた。地元に戻り、仲間や地域の人と一緒にこのような機会ができるように考えたい」と話しました。「もっと参加者に役割を」との声も多く聞かれ、参加者・関係者それぞれにとって、確実に「何かを確かめる一歩」になった機会と言えます。



たった1泊でも音や光など、さまざまな価値観が多様であることが共有できた

平成23年度大阪市ボランティア活動振興基金 「ボランティア活動促進事業」 団体助成申請受付がスタートします!()

対象団体: 大阪市内で福祉ボランティア活動を5人以上で行っているグループ

ただし、宗教活動や政治活動を目的とするものやその管理下にあるもの、営利を目的とするもの、法令や公序良俗に反する活動を行っているもの、暴力団もしくはその構成員の統制下にあるもの、団体運営や当該事業に対して、地方公共団体の助成金並びにその他の公的助成を受けている場合は対象外です。

対象期間: 4月1日~平成24年3月31日の間に行われる事業・活動

助成金額: 4万円以内

助成時期: 6月末までに交付予定

受付機関: 2月1日~2月28日

申請方法: 各区社会福祉協議会ボランティアビューロー(P.8参照)または大阪市ボランティア情報センター(担当: 中原 P.14下段参照)までお問い合わせください。

「地域福祉・市民活動協働推進事業(事業助成)」のプログラムもあります。申請受付期間は5月2日~6月4日(交付時期は9月末までに交付)です。詳細は別途本誌でもご案内します。

平成23年度「善意銀行・ありがとう 応援資金」払出先募集

テーマは「子育て・子育て支援に関する事業」/ 大阪市社会福祉協議会

大阪市社会福祉協議会では、市民や団体、企業の皆さまから預託された現金や物品を基に、「善意銀行」を設置しています。この善意の預託を、広く市民の福祉の増進に活用するため、通常の払い出しとは別に「善意銀行・ありがとう応援資金」を設け、毎年一回、特定テーマを決めて払出先を募集しています。平成23年度の募集テーマは「子育て・子育て支援に関する事業」です。詳細については、下記ホームページをご覧ください。お電話でお問合わせください。

払出対象: 市内で子育て・子育て支援の取り組みを行っている法人(社会福祉法人・NPO等)または団体・グループ。応募時点で設立されており、事業の実施体制が整っている法人または団体等とします。

払出額: 一般枠1件30万円以内(総額200万円)
特別枠1件50万円以内(総額100万円)

申込期間: 4月1日(金)~20日(水)必着

問合せ: 大阪市社会福祉協議会福祉部福祉企画課
電話 06-6765-5610

URL <http://www.osaka-sishakyo.jp/>

「団塊・シニア世代の地域活動実践報告会」を開催します

日時: 2月25日(金)午後1時30分~4時30分

場所: 大阪市社会福祉研修・情報センター
(西成区出城2-5-20)

対象: 市内で地域活動を始めてみようという(始めている)団塊・シニア世代100人

参加費: 無料

内容: 大阪市(港区)のほか、西宮市、宝塚市、藤井寺市の各市で取り組まれている活動について、実践者や支援者が、活動にかける思い、工夫や課題などをパネルディスカッション形式で語り合います。

問合せ: 大阪市ボランティア情報センター(担当: 中原 P.14下段参照)

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎月アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

アンケートの回答と併せて希望商品名をお書きください。

あなたのボランティア活動歴を教えてください。

なし 1年未満 1~4年 5~9年 10年以上

あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。

今号を読んでいかがでしたか。(ひとつ)

活動に興味・関心がわいた 活動を探してみた
活動に参加した 既に取り組んでいる活動の参考になった
特になし

今号で良かった記事はなんですか。

今月の意見募集テーマ

「社会起業家」「ソーシャルビジネス」という言葉を聞いたことはありますか?
どんな印象がありますか?

その他、ご意見・ご感想をご記入ください。

名前: 性別: 男・女
住所: 〒
職業: 学生・会社員・自営業・公務員・主婦・無職・その他()
年齢: 歳 電話番号:
本誌入手先: 地下鉄(駅)・その他()
読者歴: 初めて 1年未満 1~2年 3~4年 5年以上
ご希望商品名:

キリトリ

企画・発行



社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会



大阪市ボランティア情報センター

Osaka City Volunteer information Center

所在地 / 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター 1F

☎06-6765-4041 FAX 06-6765-5618
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp
<http://www.osakacity-vnet.or.jp>

開館時間: 午前9時30分 ~ 午後8時30分

(土曜日は午後5時まで)

休館日: 日・祝・国民の休日・年末年始

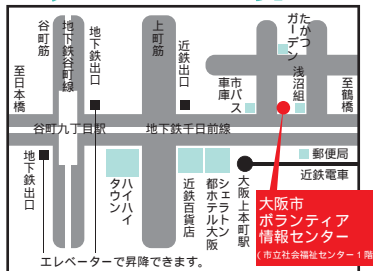
発行日: 2011年2月15日

(毎月15日発行)

発行部数: 40,000部

制作: 佐川印刷株式会社

ホームページ編集: NPO ぽこ・あ・ぽこ



本誌は大阪府共同募金会の助成を
いただいています

「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.weblogs.jp/>

大阪市営地下鉄(新大阪、淀屋橋、本町、なんば、天王寺、なかもず、大日、太子橋今市、天神橋筋六丁目、東梅田、天満橋、谷町九丁目、喜連瓜破、住之江公園、大阪港、堺筋本町、野田阪神、日本橋、天下茶屋、大正、蒲生四丁目、ポートタウン東 各駅) 近鉄電車(大坂難波・阿部野橋・大坂上本町各駅) 阪神電車(梅田駅) 大阪市サービスカウンター(梅田、難波、天王寺) 各区在宅サービスセンター(区社協) 大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪市信用金庫府内57店舗など

社会を変える・暮らしを変える 暮らしチェンジグッズ プレゼント

もっと住み良く社会を変えるためには、
自分の暮らしにも変化が必要。
環境にやさしい生活雑貨で
ライフスタイルをちょっと変えてみませんか。

1 エコ洗剤3種セット 2人様

人や動物、環境への悪影響を最小限に抑えることをコンセプトに開発されたエコ洗剤3種(洗濯用液体洗剤・柔軟仕上げ剤・おしゃれ着用洗剤)。



2 MOTTA INAI ドギーバッグセット 3人様

日本でも広まりつつある「ドギーバッグ」は、飲食店で食べ残した料理をテイクアウトする携帯型持ち帰り容器。残飯排出量ゼロを目指しましょう。



応募方法

左上のフォームに必要事項を記入し、FAX送信するか、切り取ってハガキに貼付のうえ郵便でOCVICまでお送りください(宛先は左記参照)。

締切日: 2011年3月10日(消印有効) 当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。お預かりした個人情報、本誌がどれだけ活動参加につながる効果があるのかの把握と、記念品送付の目的にのみ使用します。また、募集したテーマについてのご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人が特定される記載は行いません。

パソコン・ケータイからも応募できます!

<https://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P58784060>

専用フォームに入力するだけで簡単に応募できます。

QRコードはこちら!



(ケータイ用)



(パソコン用)

ケータイからのアクセスでは一部正しく表示されない機種があります。その場合は恐れ入りますがパソコンからのアクセスをお願いします。